令和９（2027）年度

北海道大学大学院教育学院

博士後期課程学生募集要項

令 和 ８ (2026) 年 10 月

北海道大学大学院教育学院アドミッションポリシー

教育学院は２１世紀の新しい教育像のグランド・デザインの構築、多様な教育問題の解決をめざす研究者ならびに高度な知識とスキルを備えた職業人の育成を目的としています。このため、学の内外を問わず、教育学の学問分野を専攻し、修士、博士の学位を取得しようとする強い意志を持つ学部学生、及び既に学部を卒業して社会で活躍しながら、自己の研究能力のさらなる向上を図り、学位取得を目指す人材を求めています。また、世界に開かれた大学院の観点から、外国人留学生の受け入れも積極的に行っています。社会人と外国人留学生に対しては、修士課程で特別入試を実施しています。

修士課程の入学試験は、専門に関する筆記試験、ならびにあらかじめ提出された「研究課題概要」に基づく口述試験を実施します。なお、社会人入試では、社会人としての経験を重視するとの方針から、筆記試験を免除しています。

博士後期課程の入学試験は、研究能力の判定を重視する方針にもとづき、あらかじめ提出された「研究課題概要」にもとづく口述試験を実施します。

出願登録は、インターネット（http://e-apply.jp/e/hokudai-edu/）により行います。
なお、出願に当たっては、
① プリンター（必要書類出力用）
② メールアドレス（検定料支払い完了メール及び各種連絡受信用）
を必ず用意してください。

また、インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了となりません。インターネット出願登録及び検定料納入後、出願書類を出願期間内（必着）に提出（郵送又は持参）する必要があります。

出願手続きに関する詳細は、７ページ「インターネット出願登録について」を参照してください。

※出願資格審査については、紙媒体による申請となります。

令和９（2027）年度 北海道大学大学院教育学院博士後期課程学生募集要項

１　募集人員

教育学専攻　　21 名

２　出願資格

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和９（2027）年３月までに授与される見込みの者

(2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９（2027）年３月までに授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９（2027）年３月までに授与される見込みの者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９（2027）年３月までに授与される見込みの者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号)第１条第２項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第 118 号)

①大学を卒業し、大学・研究所等において、２年以上研究に従事したもので、本学院において、当該研究成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

②外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより該当外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学・研究所等において、２年以上研究に従事したもので、本学院において、当該研究成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(8) 本学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９（2027）年３月 31 日現在 24 歳に達する者（平成 15 年４月１日生まれを含む。）

３　出願資格審査

上記「２出願資格」の(3)、(4)、(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者に対しては、別添「出願資格審査要項」により個別に出願資格審査を行う。

※「留学生」で、本学教育学院以外の出身の方は、必ず、以下の「４　出願期間」より前に、指導を希望する教員に「PSS（プレアドミッション・サポートシステム）」から事前に連絡のうえ、出願の内諾を得ること。「PSS」の詳細は以下 URL を参照。なお「PSS」申請期間は、令和８（2026）年 10 月 19 日(木)から 12 月 21 日(月)までとなっているので留意すること。

https://futuregrad.oia.hokudai.ac.jp/admissions/pss/

４　出願期間

インターネット出願登録：令和８（2026）年 12 月 21 日（月）から（全員必須）

出願書類の提出：令和９（2027）年１月４日(月)から１月７日(木)まで（受付時間は、土日祝日を除く９時～17 時まで）郵送による場合も期間内に必着のこと。

５　出願書類等

(1) 入学願書、受験票、写真票

インターネット出願登録サイトにて必要事項の入力後に作成されたものをＡ４サイズの用紙に印刷し、必要箇所に写真（上半身脱帽、正面向、３ヶ月以内に撮影のもの）を貼付すること。

(2) 修士課程修了（見込）証明書

出身大学院学院(研究科)長が作成したもの。（既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください）ただし、本学院修士課程修了（見込）の者は提出不要

◎ 中華人民共和国（香港、マカオを除く）の大学院を修了、または修了見込みの者は、修士課程修了（見

込）証明書に加えて、以下の書類を提出してください。

既　卒　者… a 学歴証書電子登録票（教育部学历证书电子注册备案表）

b 修了証書（毕业证书）の写し及び学位証書（学位证书）の写し

卒業見込者… a オンライン在籍認証レポート（教育部学籍在线验证报告）

上記のうち、書類 a は中華人民共和国教育部認証システムより取得してください。

（中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp）

また、提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認してください。

(3) 成績証明書（出身大学院学院(研究科)長が作成し、厳封のもの）

※本学院修士課程修了（見込）の者は提出不要

(4) 外国籍であることを証明する書類（パスポート（在留資格を確認できるページ）の写し又は在留カードの写し等

(5) 検定料 30,500 円（インターネット出願事務手数料 500 円を含む）

<u>※本学大学院の修士課程（博士前期課程）を修了見込みの者及び国費外国人留学生は納入不要</u>

インターネット出願サイトで必要な登録作業を行った後、同サイトにて検定料を支払うこと。

支払い方法は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア等の中から選択ができるが、詳細については、インターネット出願サイトを参照すること

※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。

①出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

②誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】

北海道大学教育学事務部 教務担当：（011）706-3494　　edkyomu@edu.hokudai.ac.jp

(6) 返信用封筒２通

・長３型(23.5×12.0 ㎝)に宛名を明記し、410 円分(速達)の切手貼付のもの。(受験票送付用)

・角形２号(24.0×33.2 ㎝)　　〃　　620 円分(速達)の切手貼付のもの。(合否通知用)

(7) 研究課題概要

修士学位論文要旨（又はそれに相当する研究成果の要旨）及び博士後期課程における研究計画を、Ａ４判縦長横書き 40 字 40 行の用紙５枚以内（厳守）（図表を含む。）にまとめ、**【 <u>５部</u> 】**提出すること。（原則としてパソコンを使用すること。また、これに、博士後期課程における研究題目及び氏名を記した表紙を付けて提出すること。）

英語による口述試験を受ける場合は、英文でＡ４判縦長横書き８枚以内(厳守)（図表を含む。）にまとめ、**【 <u>５部</u> 】**提出すること。（原則としてパソコンを使用すること。フォントは Times New Roman、文字サイズは 12 ポイントを使用し、１ページ 40 行とすること。また、これに、博士後期課程における研究題目及び氏名を記した表紙を付けて提出すること。）

なお、本学院(研究科)修了(見込)者以外は、修士学位論文(又はそれに相当する研究成果)の写し１部を提出すること。提出された修士論文の写しは返却しない。

(8) **【本学院修士課程修了（見込）<u>以外の者</u>】　又は**

【本学院修士課程修了（見込）者のうち<u>社会人入試による入学者</u>】　は<u>要提出</u>

英語能力測定試験の公式スコアの写し（６ページの英語能力測定試験の有効なスコアレポートを参照）

６　出願手続

入学志願者は、インターネット出願登録及び検定料納付後に、５に掲げる書類等を取り揃え、出願期間内に本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で郵送すること。

※インターネット出願登録については、本学院ホームページから指定のＵＲＬにアクセスし、事前に操作手順や注意事項を十分に確認すること。

７　入学者選抜方法

口述試験（※）及び研究課題概要等を総合して合格者を決定する。

※一部の教員は英語による口述試験を認める。英語による口述試験を希望する者は、７ページの指導教員及び専門分野等一覧を確認のうえ、事前に当該教員に相談すること。

８　試験日時・科目・場所

【口述試験】令和９（2027）年２月 10 日(水)9:00～

研究課題概要に基づき、日本語または英語で行う。
口述試験の順番は前日に本学院ホームページに掲載する。
【試験場所】北海道大学大学院教育学院(札幌市北区北 11 条西７丁目)

９　合格者発表

令和９（2027）年２月 16 日(火）10:00（予定）に本学院ホームページで公表するとともに、本人宛合否を通知する。電話等による照会には応じない。

10　長期履修学生制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程は３年）を超えて一定の期間（上限６年間）にわたり計画的に教育課程を履修して修了することを申し出たときは、審査のうえ、その計画的な履修を認めることがある。申請資格、申請手続き等は 13 ページのとおりである。詳細は、教務担当に問い合わせること。

11　個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 59 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程（平成 17 年 4 月 1 日海大達第 65 号）」に基づき、保護に万全を期している。
(2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。
(3) 出願書類に記載されている個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用する。
(4) (3) の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学教育学部同窓会、②北海道大学校友会エルムからの連絡を行うために利用する場合がある。

12　その他

(1) 入学料及び授業料
入学料　282,000 円(予定額)
令和９（2027）年度前期分授業料　267,900 円(年額 535,800 円)（予定額）
上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。
(2) 出願書類の受理は、受験票の交付（１月下旬予定）をもってこれにあてる。
(3) 入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験及び就学上特別な配慮を必要とする者は、令和８（2026）年 11 月 18 日（水）までに配慮申請書（本学所定様式）及び必要書類を教務担当宛提出すること。
(4) 渡日手続きに係る留意事項
＜ビザ/在留資格について＞
本学で外国人留学生として在籍するには、在留資格「留学」を取得する必要がある。在留資格「留学」の申請に必要な「在留資格認定証明書」は、申請から発行までに３ヶ月以上かかる場合もあるので、留意すること。なお、在留資格取得にかかる手続きについては、以下の本学ウェブサイトを参照。
・日本語版：https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/preparation/visa
・英語版：https://intl-student-handbook.oia.hokudai.ac.jp/en/preparation-en/visa-en
＜安全保障輸出管理について＞
本学では「外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）」に基づき「北海道大学安全保障輸出管理規程（平成 22 年 4 月 1 日海大達第 77 号）」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施している。
規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がある。 安全保障輸出管理にかかる具体的な規制事項等の詳細は、以下の経済産業省のウェブサイトを参照。
・経済産業省ウェブサイト：https://www.meti.go.jp/policy/anpo/
(5) 学校保健安全法施行規則（昭和 33 年文部省令第 18 号）第 18 条及び第 19 条において、出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、百日咳、麻しん（はしか）、風しん、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、入学試験当日までに出席停止期間を経過していない受験者は、他の受験者への感染拡大防止のため、受験できません。
また、試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、あるいは発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状であっても、基礎疾患等により重症化しやすい場合は受験の

取り止めを検討してください。
　上記により、受験できない場合の追試験等の対応は行いませんので、体調管理には十分注意してください。

令和８（2026）年10月

北海道大学大学院教育学院
(連絡先)〒060-0811 札幌市北区北11条西７丁目
北海道大学教育学事務部　教務担当
TEL 011-706-3494、3083
E-mail edkyomu@edu.hokudai.ac.jp

令和９（2027）年度北海道大学大学院教育学院博士後期課程出願資格審査要項

令和９(2027)年度に本学院博士後期課程へ入学を志願する者のうち、募集要項中の出願資格の(3)、(4)、(6)、(7) 及び (8) により出願する者の出願資格審査を下記により実施する。ただし、今までに本学院において出願資格審査を受けたことがある者は、事前に教務担当宛て申し出ること。

１．願書受理期間

令和８（2026）年 11 月 12 日（木）から 11 月 18 日（水）まで（期間内に必着のこと。）

２．出願書類等

次の書類を取り揃え、上記願書受理期間内に本学院宛て提出すること。郵送の場合は、「大学院入学願書（出願資格審査)」と朱書きし、「簡易書留」郵便で下記住所へ郵送すること。

〒060－0811　札幌市北区北 11 条西７丁目
北海道大学教育学事務部 教務担当

出願書類等	備　　考
① 出願資格審査申請書	所定様式
② 出願資格審査願書	所定様式（写真は３ヶ月以内に撮影のものを貼付すること）
③ 最終学校の卒業(修了)証明書	最終学校の長が作成したもの。
④ 最終学校の成績証明書	最終学校の長が作成し、厳封したもの。
⑤ 返信用封筒１通	出願資格審査結果通知用：定形封筒［12.0×23.5cm］に宛先を明記し、410 円切手を貼付のもの。
⑥ 志望理由及び研究計画についてのレポート	本学院を志望するに至った経緯とこれまでの研究や活動について記載すること。2,000 字以内、A4 版の用紙を用い様式自由。
⑦ 著書、論文、報告書、研究発表資料、活動の成果物等	該当するものがあれば、資料として提出することを認める（２点以内)。
⑧ 英語・日本語能力を証明するもの	TOEIC 等のスコア等英語について、自己の能力を証明するものがあれば、資料として提出することを認める。 なお、外国人留学生については、日本語能力を証明するものでもよい。

※上記⑥～⑧の書類については、出願資格（8）により出願する者のみ提出すること。

３．出願資格審査の方法

提出書類により資格審査を行う。ただし、出願資格の（8）により出願する者のうち必要と認めた者については、口頭試験を行うことがある。

４．口頭試験

令和８（2026）年 12 月 11 日（金）　15 時 30 分～

５．口頭試験場所

北海道大学大学院教育学院（札幌市北区北 11 条西７丁目）

６．出願資格審査の結果

出願資格審査の結果は、本人あて郵送により通知する。電話による問い合わせには応じない。

７．博士後期課程選考試験の受験について

本審査により出願資格を認められた者は、令和９（2027）年２月 10 日（水）に行う博士後期課程の選考試験を受験することができる。この選考試験を受験する者は、12 月 21 日（月）から開始（予定）のインターネット出願登録を経た後、各入試募集要項に記載の「出願書類等」のうち、「受験票」、「写真票」、「返信用封筒２通」、「研究課題概要」を令和９（2027）年１月４日（月）から１月７日（木）までに、本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で郵送すること。

８．その他

出願手続後は、書類の変更は認めない。なお、提出された書類は一切返還しない。

博士後期課程入学試験における
英語能力測定試験の有効な公式スコア

1. すべての受験者は、次表に掲げた、いずれかの有効なスコアレポートを提出のこと。ただし、たとえば英語公用語圏の大学において卒業論文・修士論文を提出したことがある場合には、当該論文の提出によって、有効なスコアレポートの提出を免除することがあるので、事前に問い合わせること。
2. 有効なスコアレポートの期間は各試験が定めている有効期間に従う。

有効な英語能力測定試験	有効なスコアレポート	必要な点数
TOEIC Listening & Reading（公開テスト）	公式認定証（デジタル公式認定証含む）のみ有効。web 画面のテスト結果を印刷したものは無効。	500 点以上
TOEIC IP テスト（団体特別受験制度）	北海道大学で実施したテストのスコアレポートのみ有効。TOEIC IP オンラインのスコアレポートは無効。	
TOEFL-iBT	Official Score Certificate もしくは Test Taker Score Report が有効。web 画面のテスト結果を印刷したものは無効。	2026 年 1 月 20 日以前の試験：TOEFL iBT スコア 42 以上（0-120 のスコア） 2026 年 1 月 21 日以降の試験：TOEFL iBT スコア 3 以上（1-6 バンドスコア）
TOEFL-ITP（団体向け TOEFL テストプログラム）	北海道大学で実施したテストのスコアシートのみ有効。TOEFL-ITP デジタル版のスコアレポートは無効。	460 点以上

指導教員及び専門分野等一覧

【教育学院】　　令和8（2026）年10月1日現在

専攻	講　座	教　員		専門分野	備　考
教育学	学校教育論	教　授	近藤健一郎	学校史	
		教　授	白水浩信	教育思想	
		教　授	江本理恵	教育工学（情報教育論）	
		教　授	北村嘉恵	教育史	
		准教授	篠原岳司	学校経営論、教育行政学	c
		准教授	張　揚	教師教育制度論	
		准教授	亘理陽一	教育方法学	
	生涯学習論	教　授	辻　智子	青年期教育論	
		教　授	光本　滋	高等継続教育	
		教　授	飯田直弘	比較高等教育論	
		准教授	肖　蘭	比較成人教育論	a
		講　師	吉田弥生	社会教育学	
		講　師	田中孝平	大学教育論	
	教育社会論	教　授	上原慎一	産業教育	
		教　授	亀野　淳	職業キャリア教育論	
		教　授	駒川智子	職業能力形成論	
		教　授	佐々木　宏	教育福祉論	
		准教授	鳥山まどか	教育福祉論	
		准教授	上山浩次郎	教育社会学	
	教育心理学	教　授	河西哲子	視知覚認知過程論	b
		教　授	関　あゆみ	学習神経心理学	
		教　授	加藤弘通	発達心理学	
		教　授	川田　学	乳幼児発達論	
		准教授	伊藤　崇	言語発達論	
		准教授	大谷和大	認知・動機づけ論	a
	臨床心理学	准教授	井出　智博	福祉臨床心理学	
		准教授	岡田　智	発達臨床論	
		講　師	濤岡　優	家族発達臨床論	
	健康教育論	教　授	柚木　孝敬	運動生理学	b
		准教授	山仲勇二郎	時間生物学	b
		講　師	牧野圭太郎	健康行動疫学	
	身体教育論	教　授	池田恵子	身体文化論	b
		教　授	阿部匡樹	身体運動支援システム論	b
		准教授	崎田　嘉寛	身体教育学	
		准教授	山崎　貴史	体育社会学	
	多元文化教育論	教　授	ゲーマン, ジェフリー	教育人類学	b
		教　授	土田　映子	アメリカ地域研究	b
		教　授	青木麻衣子	比較教育学	
		教　授	堀　晋也	言語教育学	b
		准教授	ブンティロフ, ゲオルギー	比較文化研究	b

※１.各教員の研究内容等の詳細については、HPまたは大学院入学案内等を参照してください。
出願を検討される際、指導を希望する教員と直接連絡をとることをお勧めいたします。
教員の連絡先は、教育学院ＨＰの教員紹介のページから連絡先を確認してください。

※２．備考欄に、令和９（2027）年に研究等のため長期不在となる期間がある教員は「a」を、
英語による口述試験を認める教員は「b」を付しています。
これらの教員を指導教員として希望する場合は、事前に当該教員に相談してください。

※３．備考欄に「c」を付した専門分野について、教育行政学を希望される場合は、
事前に当該教員に相談してください。

インターネット出願登録について

（博士後期課程）

出願登録は、インターネット（http://e-apply.jp/e/hokudai-edu/）により行います。
なお、出願登録にあたっては
　①プリンター（必要書類出力用）
　②メールアドレス（検定料支払い完了メール及び各種連絡受信用）
を必ず用意してください。
また、インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続き完了となりませんので、ご注意ください。

※出願資格審査については、紙媒体による申請となります。

インターネット出願について

◎インターネット出願登録開始　：令和８(2026)年12月21日（月）10:00（予定）～
◎出願期間　：令和９(2027)年１月４日（月）～ １月７日（木)17:00まで　　※日本時間

〇出願書類等　：インターネット出願登録及び検定料納入後、<u>出願書類等を出願期間内(必着)に提出(郵送又は持参)すること</u>。

① 入 学 願 書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される願書を印刷すること。
② 受験票・写真票	インターネット出願サイトにて、願書と一緒に印刷される受験票・写真票に出願前３ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真（縦４㎝×横３㎝）を所定の欄に貼ること。なお、写真の裏に、「氏名」及び「志願学院名」を記入すること。
③ 検　定　料 30,000円 ※別途事務手数料(500円）が必要です。 **<u>※本学大学院の修士課程（博士前期課程）を修了見込みの者及び国費外国人留学生は納入不要</u>**	【検定料の払込方法】 ① 検定料は、インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを取ること。支払方法は下記のとおり。 （次ページ「２．支払い方法の選択、検定料の支払い」を参照） Ⅰ．クレジットカードによる支払い （VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS等） Ⅱ．Pay-easy（銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、ジャパンネット銀行、楽天銀行（旧イーバンク銀行）による支払い （支払方法の選択後に発行される各種支払用の番号を忘れずにメモし、各支払機関に持参すること。） Ⅲ．中国銀聯ネット決済（China Pay）による支払い 注）クレジットカードで支払いができない者で、出願時に海外に居住するものは、「日本国内の連絡先」の者に依頼して、Ⅰ～Ⅲのいずれかの方法により支払うこと。 ② 普通為替や現金では受理できないので、注意すること。 ③ 処理手数料は、振込者の負担とする。（クレジットカードは除く） ④ 支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、本人の控えとして大切に保管すること。 【検定料の返還】 次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還しない。 ア．検定料の返還ができるもの （ⅰ）検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった)又は出願が受理されなかった場合 （ⅱ）検定料を誤って二重に振り込んだ場合 イ．返還方法の問い合わせ先 返還に必要な書類を郵送するので、以下まで問い合わせること。 上記書類の他、検定料を支払ったことを証明する書類（支払完了通知メール等）及び返還先口座通帳（口座番号・口座名義が記載されているページ）の写しが必要になるので、事前に準備しておくこと。 なお、払い戻しには相当の日数がかかるので注意すること。 【返還方法の問い合わせ先】 北海道大学教育学事務部 教務担当： edkyomu@edu.hokudai.ac.jp

○ 出願方法

※**本学大学院の修士課程（博士前期課程）を修了見込みの者**及び国費外国人留学生は、**検定料の納入が不要**となるため、**以下登録作業の前に必ず教育学事務部教務担当（edkyomu@edu.hokudai.ac.jp）までメールにてご連絡**ください。
なお、**出願登録はこの連絡の後に行っていただく**こととなりますので、**上記ご連絡は時間に余裕をもって**行ってください。

１．インターネット出願登録

① 北海道大学のホームページ（http://e-apply.jp/e/hokudai-edu/）よりインターネット出願サイトにアクセスしてください。
注１）事前に操作手順や注意事項を必ず確認してください。
注２）本サイト利用にあたり、必要書類の出力、申込み及び検定料支払いの完了メールを通知するため、プリンター及びメールアドレスが必要となります。必ず事前にプリンター及びメールアドレスを用意してください。
② 画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力してください。
③ 必要事項の入力が正常に完了すると、登録されたメールアドレス宛に「出願完了メール」が届きます。

２．支払い方法の選択、検定料の支払い

① インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを取ってください。
次のⅠ～Ⅲのいずれかの方法により支払ってください。

Ⅰ．クレジットカードによる支払い
「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力してください。

Ⅱ．Pay-easy（銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、ジャパンネット銀行、楽天銀行（旧イーバンク銀行）による支払い

【Pay-easyの場合】
支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし、Pay-easy対応ATMで支払ってください。

【コンビニエンスストアの場合】
支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし、コンビニエンスストアで支払ってください。
（ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップ、スリーエフ、デイリーヤマザキ、セイコーマートにて利用可能です）

【ジャパンネット銀行、楽天銀行（旧イーバンク銀行）の場合】
画面の説明に従い支払ってください。

Ⅲ．中国銀聯ネット決済（China Pay）による支払い
各銀行の支払画面にて、「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」等の支払い情報を入力し、支払ってください。

② 支払機関により支払に必要な情報や方法が異なりますので、画面の説明を必ず確認してください。

※クレジットカードによる支払いができない者で、出願時に海外に在住する者は、「日本国内の連絡先」の者に依頼して、Ⅰ～Ⅲのいずれかの支払方法より支払ってください。

３．出願書類の提出

① インターネット出願登録後に作成される願書及びその他出願に必要な書類を（郵送の場合は願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り）出願期間内（必着）に提出（郵送又は持参）してください。

② 全ての書類が本学に到着した時点をもって出願手続完了となります。
インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了となりませんので、ご注意ください。

注）インターネット出願登録及び検定料納入をしていても、出願書類が出願期間後に到着した場合は受理しませんので、郵便事情等を考慮して余裕をもって提出（郵送）してください。

○出願上の注意事項

① 出願書類に不備がある場合は受理しないので、誤りのないように注意してください。

② 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

③ いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

○インターネット出願登録（操作手順及び支払方法）に関する問い合わせ

・問い合わせ方法　：電話又は電子メールによること。
「学び・教育」出願・申込サービス　サポートセンター
電　話：０１２０－２０２０７９（ 受付時間：月～金　10:00～18:00 ）
E-mail：cvs-web@disc.co.jp

○出願の流れ

出願書類の準備

事前に最終学校の卒業（修了）証明書、成績証明書等、募集要項における「出願書類等」の(2)(3)の出願に必要な書類を取り寄せておいてください。

＜出願資格審査＞

（出願資格審査を必要とする出願資格の志願者はインターネット出願の前に、募集要項綴じ込みの書類（紙媒体）により、出願資格審査を受けてください。
審査の結果、資格有りと認められ、その通知を受け取った後に、インターネットによる出願を行ってください。）

インターネット出願登録

12 月 21 日（月）10:00（予定）よりインターネット出願登録を受け付けます。
本学ホームページ（http://e-apply.jp/e/hokudai-edu/）からインターネット出願サイトにアクセスし、操作手順及び注意事項をよく読み出願をしてください。

支払い方法の選択、検定料の支払い

・・・

※本学大学院の修士課程（博士前期課程）を修了見込みの者及び国費外国人留学生は納入不要（P.8 上部参照）

次のⅠ～Ⅲのいずれかの方法により、検定料（30,000 円）及び事務手数料（500 円）をお支払いください。

Ⅰ．クレジットカードによる支払い
Ⅱ．Pay-easy（銀行 ATM、ゆうちょ銀行 ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、ジャパンネット銀行、楽天銀行（旧イーバンク銀行）による支払い
Ⅲ．中国銀聯ネット決済（China Pay）による支払い

出願書類の提出

・出願書類（要項参照）を揃え、出願期間（**1月４日(月)から1月７日(木)まで**、受付時間は土・日・祝を除く９時から１７時まで）内（必着）に提出（郵送又は持参）してください。郵送による場合も期間内必着のこと。

注）全ての書類が本学院に到着した時点をもって出願手続完了となります。インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了となりませんので、ご注意ください。

出願完了

送付された出願書類を確認後、受験票を送付します（１月下旬予定）。

長期履修学生制度について（案内）

１　長期履修学生制度の趣旨

長期履修学生制度とは、職業等を有している等（介護・育児などを含む。）の事情で、単位取得のための学習時間や研究指導を受ける時間が制限されるため、標準修業年限（修士課程２年、博士後期課程３年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修する旨の申請に基づき、学院が個別に審査のうえ、一定の期間にわたる計画的な履修を認める制度です。

２　長期履修の対象者

次の各号のいずれかの事由に該当する者で、課程修了に要する学修(研究)計画年数を予め長期に設定することを希望する者

(1) 官公庁、企業等に在職している者(給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。)又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
(2) アルバイト、パートタイム等の職業に就いているため、その負担により修学に重大な影響があると本学院が認めた者
(3) 育児、親族の介護等前２号に準ずる負担により、修学に重大な影響があると本学院が認めた者
(4) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、本学院において、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めた者

３　長期履修期間

長期履修による修業年限の期間は、修士課程にあっては４年以内、博士後期課程にあっては６年以内で、年を単位として申請することができます。

なお、長期履修学生として認められた学生が在学できる年限は、修士課程の場合は認められた長期履修期間に２年を加えた期間まで、博士後期課程の場合は６年間です。

また、学院において休学を許可できる期間は、修士課程は通算２年間まで、博士後期課程は通算３年間までです。

４　長期履修の手続き等

(1) 原則として、入学願書提出時に長期履修の希望を申し出ることとします。（出願サイトの所定欄に「希望有」の旨を入力すること。）
(2) 長期履修を希望する者は、希望する履修開始の前年度の２月中旬（別途お知らせします）までに、長期履修申請書、長期履修計画書、長期履修が必要であることを証明する書類等を添えて教務担当あて提出してください。
(3) 長期履修計画書の作成・提出に際しては、事前に指導(予定)教員に相談してください。また、同計画書には指導教員の所見と署名が必要になります。
(4) 大学院に在学している者(最終年次に在学する者は除く)にあっては、希望する履修開始の前年度の２月中旬（掲示にて周知）までに、上記(２)の関係書類を提出してください。

５　長期履修期間の短縮または延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学する課程において、１回に限り期間の短縮または延長を申請することができます。

(1) 長期履修期間の短縮
　修了希望日の６か月前までに「長期履修学生在学期間変更願」（所定の様式）を提出し、許可を得なければなりません。
　・１年短縮であれば長期履修期間終了日の１年６ヶ月前まで
　・２年短縮であれば長期履修期間終了日の２年６ヶ月前まで
(2) 長期履修期間の延長
　長期履修学生は、長期履修期間の延長をすることができます。
　延長を希望する者は、当初の長期履修期間が終了する日の１年前までに「長期履修期間変更願」（所定の様式）を提出し、許可を得なければなりません。
　なお、長期履修期間は、修士課程は４年、博士後期課程は６年を超えることができません。
(3) 長期履修期間の短縮または延長の場合の授業料は、再計算されますが、いずれも在学期間に応じ過不足の調整がなされますが、既納の授業料は返還されません。

６　授業料の取扱い

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限（修士課程２年、博士後期課程３年）に相当する年数を乗じて得た額を許可された在学期間の年数で除した額となります。ただし、授業料の改定又は長期履修の短縮又は延長が許可された場合は、その都度再計算します。

＜算出例＞修士課程の長期履修が在学期間３年と認定された場合

535,800円	×	２年	÷	３年	＝357,200円
(授業料の年額)		(標準修業年限)		(許可された在学期間)	(長期履修学生の授業料年額)

※授業料年額は予定額

７　その他

長期履修の申請手続きを行う際には、事前に教務担当に問い合わせ、遺漏のないようにしてください。

北海道大学大学院教育学院（連絡先）北海道大学教育学事務部教務担当
TEL 011(706)3494　　E-mail edkyomu@edu.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院教育学院（博士後期課程）出願資格審査　申請書

貴学大学院教育学院博士後期課程に出願したいので、出願資格について審査を申請します。

年　　月　　日

ふりがな

申請者　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月　　日生

北海道大学大学院教育学院長　殿

出願資格	（３）　（４）　（６）　（７）　（８）

該当の出願資格を〇で囲むこと。

特別の理由 （出願資格が修士の学位又は専門職学位を有する者（見込）以外で、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると考えられる場合は、その理由について記入してください。）	

令和9（2027）年度　出願資格審査願書

教育学院　博士後期課程

フリガナ Katakana		写真貼付 Attach Photograph 上半身脱帽、正面向 3ヶ月以内に撮影したもの Photo must show upper body, Taken from front Must be taken within 3 months
氏　名 Full Name		
英語表記 Full Name in English	(Family,First,Middle)	
生年月日 Date of Birth	年　　月　　日生（満　　歳） year　month　day　age	
本籍（国籍） Nationality		
出願資格 Application Qualification Type	出身大学名等　Name of School 大　学　　学　部　　学科　　年　　月　卒業 Graduation 大学院　　研究科 学　院　　専攻　　年　　月　修了 Completion 修了見込 Expected completion	
現住所 Current Address	〒　　－ T　E　L（　　－　　－　　） 携帯電話（　　－　　－　　） Portable telephone	
E-mail		
緊急時の連絡先 Contact information of guarantor	〒　　－	
	氏名　Full Name	（志願者との続柄：　　） Relationship
		TEL（　　）　　－

入学後の研究課題 Research planned be conducted after admission	

講座名 Course Name		専門分野 Special Field	
志望する指導教員（1名） Academic advisor			

長期履修制度の希望の有無（希望する場合は〇を付す） Preference for long-term study system	

英語による口述試験を受ける志願者は、次の欄も記入すること。
（この欄の記入がない場合は、英語による口述試験を受けることができない。）

英語による口述試験の希望の有無（希望する場合は〇を付す） Preference for the oral examination by English	

※「指導教員及び専門分野等一覧」の備考欄に「a」、「b」または「c」がある教員を希望する場合は、必ず事前に当該教員に相談すること。

※If you wish to request a teacher whose “Remarks” column for “Faculty List and Research Specializations” contains “a,” “b,”or “c,” be sure to consult with that teacher in advance.

＜【履歴】に続く。＞

履　　歴

Educational Background Form

区　分	在学等の履歴 Date of Study	学校等名 Name of School or Institution
学　　歴 School Education	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
職　　歴 Employment	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	
	年 月 日 year month day	

上記のとおり相違ありません。

There is no difference as shown in the above-mentioned.

年　　月　　日

year　　month　　day

氏　　名

Signature

北海道大学大学院教育学院

（連絡先）〒060-0811
札幌市北区北 11 条西 7 丁目
北海道大学教育学事務部教務担当
ＴＥＬ　011-706-3494、3083
E-mail　edkyomu@edu.hokudai.ac.jp

教育学院ホームページ　https://www.edu.hokudai.ac.jp/